



エスプレッソ式コーヒーメーカー

# GIGA6

## 取扱説明書



- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 安全上のご注意               | 2  |
| 使用上のご注意               | 5  |
| 各部の名称と付属品             | 6  |
| ホーム画面／メニューについて        | 9  |
| はじめてお使いになるときは         | 10 |
| 抽出前の準備                | 15 |
| 給水タンクに水を入れる           | 15 |
| コーヒー豆を入れる             | 16 |
| ミルクチューブを接続する          | 17 |
| 付属品を接続する              | 17 |
| コーヒーを抽出する             | 18 |
| お湯を注ぐ                 | 19 |
| 使用中は                  | 20 |
| 給水する                  | 20 |
| コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる    | 20 |
| [すすぎ] をする             | 21 |
| 電源をオフにする              | 21 |
| 使用後のお手入れ              | 22 |
| ミルク経路のお手入れ            | 22 |
| フォームフローサーの分解洗浄        | 24 |
| 定期的なメンテナンス            | 26 |
| 給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄 | 26 |
| マシン洗浄をする              | 27 |
| ホッパーのお手入れ             | 28 |
| フィルターを交換する            | 30 |
| 設定                    | 31 |
| メンテナンス設定画面            | 31 |
| マシン設定画面               | 31 |
| メニューの設定               | 32 |
| アラーム表示                | 34 |
| こんなときは                | 35 |
| 消耗品                   | 37 |
| ご購入が可能な消耗品            | 37 |
| お客様自身で交換ができない消耗品      | 37 |
| 水抜きの方法                | 38 |
| 保管方法                  | 38 |
| 廃棄について                | 38 |
| アフターサービスについて          | 38 |
| 仕様                    | 39 |

# 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 〈表示の説明〉



### 警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



## 警告

## ■ 電源コード・電源プラグについて



**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。**

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

- コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**

感電・ショート・火災の原因になります。

**定格 15A (100V) のコンセントを単独で使い、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。**

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。**  
感電の恐れがあります。



**電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。**

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



**アースを接続する。**

アースを接続せずに万一漏電が起こった場合は、感電や火災の恐れがあります。

- アース工事が必要な場合は、販売店・電気工事店にご依頼ください



## 警告

### ■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに水漏れ、感電、火災などの原因となります。



プラグを抜く

この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、感電や火災などの原因となります。

● 販売店もしくは弊社コールセンターにご連絡ください。

異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

● 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線、配管などに触れない。

やけどや感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。

本体に水がかかってしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターにご連絡ください。



子どもが使用するときは、近くで監督する。

また、幼児の手の届くところで使用しない。



## 注意

### ■ 電源コード・電源プラグについて



使用中は電源コードが本体に触れないようにする。

感電・ショートの原因になります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

# 安全上のご注意（続き）



注意

## ■ 設置について



本体は水平で安定し、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置する。  
また、熱に弱い敷物の上で使用しない。  
不安定な場所に設置すると、落下や転倒などによりけがの原因となります。



壁や家具の近くでは使用しない。  
蒸気や熱により変形、変色する恐れがあります。



天然木や天然石の上に置く場合、水や洗浄液の飛沫がついても影響がない材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護をおこなう。

使用の際に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。

## ■ 使用中について



抽出する前に、抽出ヘッドの位置に注意してカップを置く。また、高さの低いカップの場合は、抽出ヘッドの高さを低くする。  
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。

排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。  
水がこぼれて、床や机を汚す原因になります。



抽出中は、抽出口に顔や手を近づけない。  
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。



接触禁止

抽出中や抽出直後は、抽出口など高温部に触れない。  
やけどの原因となります。

作動中にホッパーの中に手を入れない。  
けがの原因になります。

## ■ 製品の取り扱いについて



製品を移動する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどがなく、十分に冷めていることを確認してからおこなう。  
やけどや感電の原因となります。

長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切る。  
本体内部に豆が残っていると、次に使用するとき古い豆で抽出をおこなってしまいます。



本体を落下させたり倒したりしない。  
けがや故障の原因となります。

本来の目的以外には使用しない。  
事故の原因になります。

## ■ お手入れについて



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう。  
やけどの原因になります。



本体は水洗いしない。  
感電の原因になります。



フィルターの交換やクリーニングは規定どおりに実施する。  
規定通りにおこなわないと、カビや細菌が繁殖する原因になります。



# 使用上のご注意

## ■ 設置場所について

- 周辺温度が 10 ～ 35℃の水平な場所に設置してください。  
(上記範囲外だと故障の原因)
- 直射日光が常に当たる場所、埃やちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。  
(故障の原因)
- 本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。  
(熱がこもると故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。  
(熱によって変形し、故障の原因)

## ■ 使用時

- 給水タンクに水道水以外のものやお湯・純水・ミネラルウォーターを入れないでください。  
(故障の原因)
- ホッパー（6 ページ参照）にコーヒー豆以外のものや挽いたコーヒー粉を入れないでください。
- 野外では使用しないでください。  
(故障の原因)
- 給水タンクに水を入れていない状態で使用しないでください。  
(故障の原因)
- 最大容量（給水タンクの MAX ライン）を超えた水を入れて使用しないでください。  
(故障の原因)
- 給水タンクを本体に取り付けたまま水を補充しないでください。  
(故障や感電の原因)

## ■ 使用後

- 電源プラグをコンセントから取り外すときは、本体の電源をオフにし、本体の動作が止まってからおこなってください。  
(故障の原因)

## ■ お手入れ時

- 本体のプラスチック部分の清掃にアルコール類を使用しないでください。  
(破損の原因)
- 本体の上面は傷が付きやすいため、メガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。  
(破損や変形の原因)

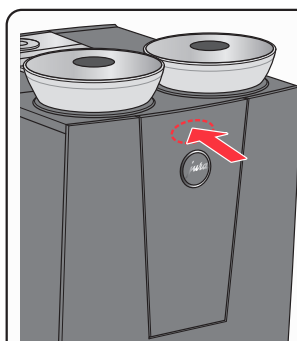
使用後のお手入れ方法は、22 ページを参照してください。

# 各部の名称と付属品

はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。

梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、捨てずに保管しておいてください。

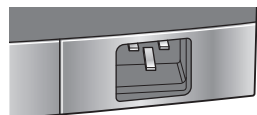
## マシン本体背面



## ■ マシン本体

ふた

プラグ差込口  
(本体背面)



給水タンク

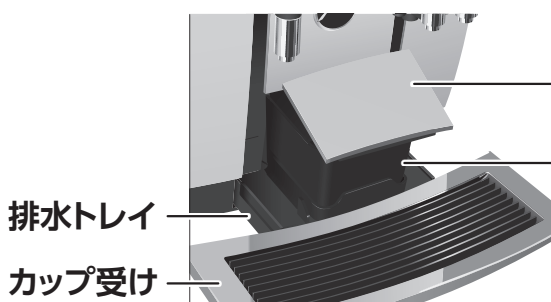


ホッパー

コーヒー豆を入れます。  
※ホッパーの下（外からは見えません）に  
はコーヒー豆を挽くグラインダー（コーヒー  
豆を粉状にするための部品）があります。

タッチパネル  
(9 ページ参照)

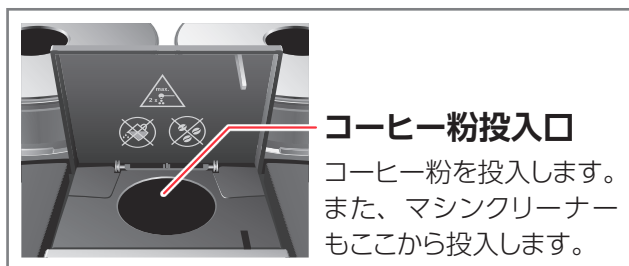
## トレイユニット



- 排水トレイの下側を持ち、引いて取り外します。
- トレイユニットを引き出すときは、トレイユニットカバーが引っかからないよう抽出ヘッドを上げてください。
- トレイユニットは強い力がかかるとヒビが入る可能性があります。本製品を持ち運ぶ際はトレイには手をかけず本体を持つようにしてください。

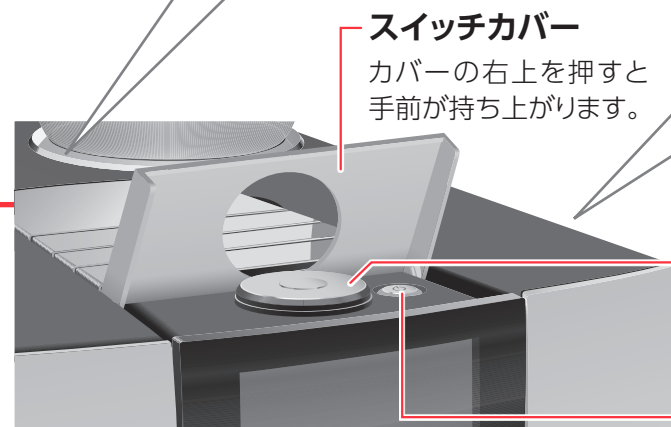
### お願い

初めてご使用になるときは、タッチパネルに貼ってある保護シールをはがしてください。



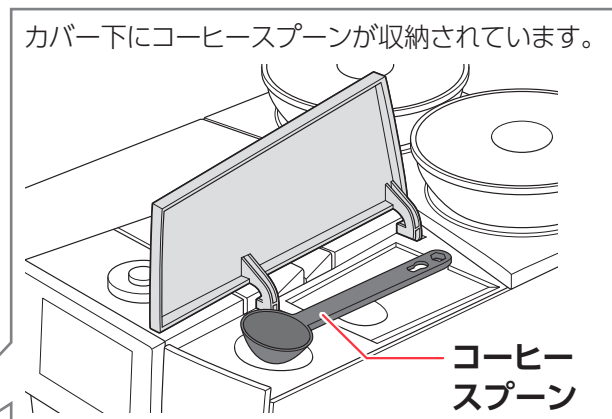
#### コーヒー粉投入口

コーヒー粉を投入します。  
また、マシנקリーナー  
もここから投入します。



#### スイッチカバー

カバーの右上を押すと  
手前が持ち上がります。



カバー下にコーヒースプーンが収納されています。

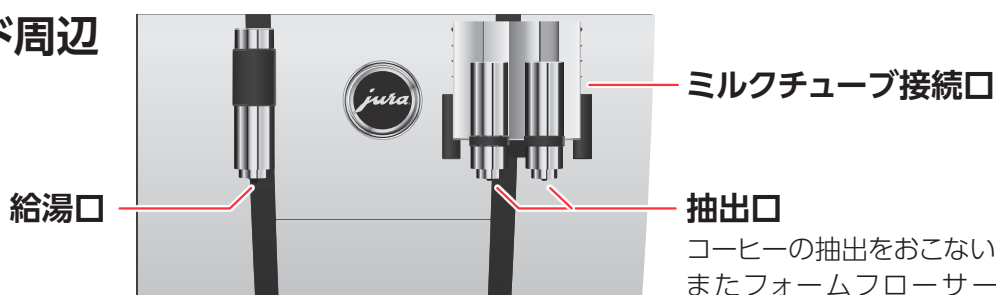
#### コーヒースプーン

#### ロータリースイッチ

回すと、画面のスクロールや設定の数値変更ができます。  
中央部を押すと、設定画面に移動します。

#### 電源ボタン

### 抽出ヘッド周辺



#### 給湯口

#### ミルクチューブ接続口

#### 抽出口

コーヒーの抽出をおこないます。  
またフォームフローサーを装備  
しているので、ミルクを使ったメ  
ニューも抽出することができます。

抽出口・給湯口はカップの高さに合わせて  
位置を上下することができます。



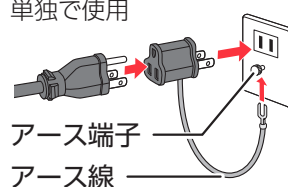
### ポイント

#### オフまでの時間設定

電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にす  
すぎがおこなわれ、電源がオフになります。  
オフになるまでの時間は設定することができます。  
(31 ページ参照)

### 電源接続について

定格 15A(100V)  
単独で使用

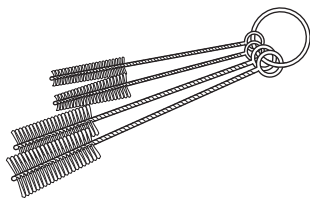


アース端子  
アース線

コンセントが 2 穴の場合  
は、付属の 2 芯変  
換プラグを取り付け、  
アース線をアース端子  
に接続してください。

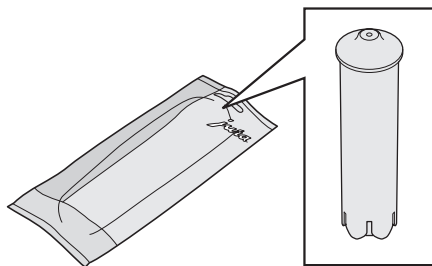
# 各部の名称と付属品 (続き)

## ■ 付属品



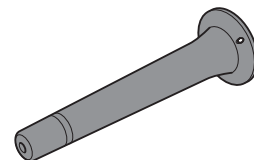
### ブラシセット × 1

フォームフローサーを洗うときに使用します。



### フィルター × 2<sup>※1</sup> (クラリススマートフィルター)

給水タンクに取り付けます。



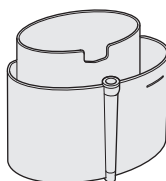
### フィルターエクステンション × 1

フィルターに取り付けます。



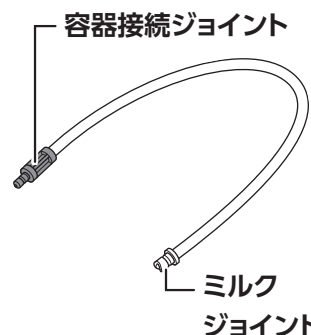
### フローサー抽出口先端 × 22<sup>※1</sup>

本体にあらかじめ取り付けられているフローサー抽出口先端のスペアです。単品の2個と20個入りの箱が付属します。



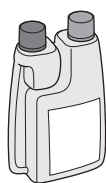
### ミルククリーニング容器 × 1

ミルククリーニングをするときに使用します。



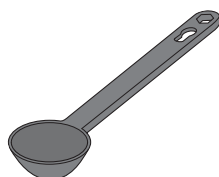
### ミルクチューブ × 1<sup>※1</sup>

ミルクメニューを使用するときに使用します。(約 300mm)



### ミルククリーニング液 × 1<sup>※1</sup>

ミルククリーニングをするときに使用します。



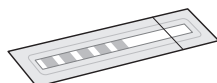
### コーヒースプーン × 1

コーヒー粉やコーヒー豆を投入するときに使用します。



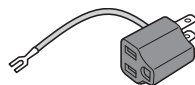
### マシンクリーナー × 1<sup>※1</sup>

(20錠入り)<sup>※2</sup>

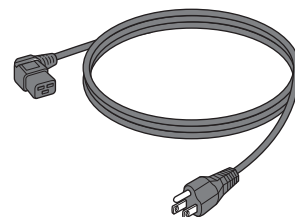


### テスター × 1

水の硬度を測ります。



### 2芯変換プラグ × 1



### 電源コード × 1

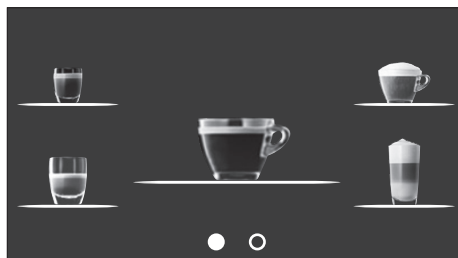
※1 消耗品 (37 ページ参照)

※2 サンプル品

# ホーム画面／メニューについて

- タッチパネルまたはロータリースイッチで操作します。
- 電源を切ったときに表示されていたページが、次回電源を入れたとき最初に表示されます。
- 使用していくと、1 ページ目にはよく使うメニューが表示されるようになります。(スマートモードが ON の場合のみ適応 → 31 ページ参照)

## ホーム画面



## ホーム画面 (スマートモード ON 時の2ページ目)



○を押すとページを切り替えることができます。

## ロータリースイッチメニュー画面



- この画面が表示された状態でロータリースイッチを押しても、設定画面は表示されません。  
設定画面を表示させるためには「戻る」をタッチしてホーム画面に戻る必要があります。

## 表示できるメニュー

|  |                  |  |            |  |             |  |            |
|--|------------------|--|------------|--|-------------|--|------------|
|  | ミルクフォーム※         |  | 2xエスプレッソ   |  | 2xラテマキアート※  |  | 2xカフェラテ※   |
|  | エスプレッソ<br>ドoppio |  | 2xアメリカーノ   |  | 2xマキアート※    |  | 2xミルク※     |
|  | 熱湯 (お茶用)         |  | 2xアメリカーノ L |  | 2xコールドブリュー※ |  | 2xミルクフォーム※ |
|  | ポットコーヒー          |  | 2xカプチーノ※   |  | 2xフラットホワイト※ |  |            |

※ ミルクを使用するメニューですので、ミルクチューブを接続する必要があります。

※ 1 ページ目と 2 ページ目のメニュー配置はプログラムで変更可能です。

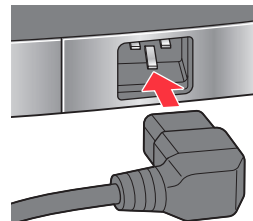
# はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、画面の案内にしたがって初期設定をおこないます。

※ 本製品は工場で実際にコーヒー豆を使って抽出テストをおこない、出荷しています。そのため、初めてお使いになる場合でもコーヒー粉が残っている場合があります。

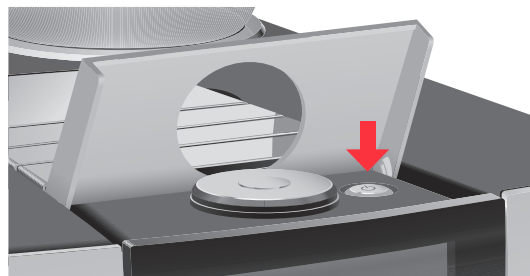
## 1 電源コードを本体とコンセントに接続します。

- 本体のプラグ差込口に接続プラグを差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 必ずアース接続してください。  
アースコンセントがない場合は、現在ご使用中の電化製品（エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど）のアースコンセントに共用接続してください。また、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。



## 2 電源ボタンを押します。

ボタンカバーを開けて、電源ボタンを押してください。



## 3 起動画面が表示された後、[Choose language] 画面が表示されるので、**【日本語】**を選択します。

- ① 画面をスワイプまたはロータリースイッチを操作して、**【日本語】**をハイライト表示させます。
- ② **【保存】**をタッチして選択します。



## 4 **【日付】**画面が表示されるので、**日付を設定します。**

正しい日付が表示されていたら**【保存】**をタッチして選択します。  
日付が正しくない場合は、画面右下の  をタッチして消去し、正しい日付を入力して**【保存】**をタッチして選択します。





5

〔時刻表示方法〕画面が表示されるので、

### 時刻の表示方法を設定します。

〔24hrs〕または〔AM / PM〕をスワイプしてハイライト表示させ、〔保存〕をタッチして選択します。



6

〔時刻〕画面が表示されるので、

### 時刻を設定します。

正しい時刻が表示されていたら〔保存〕をタッチして選択します。  
時刻が正しくない場合は、画面右下の  をタッチして消去し、正しい時刻を入力して〔保存〕をタッチして選択します。



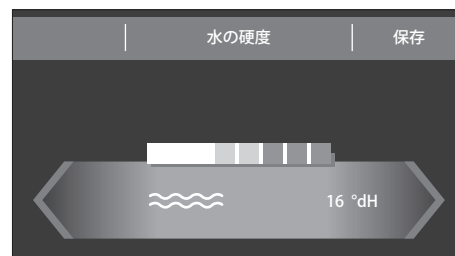
7

〔水の硬度〕画面が表示されるので、

### 硬度を設定します。

左右の<>部分をタッチまたはロータリースイッチを操作して硬度を設定し〔保存〕をタッチして選択します。

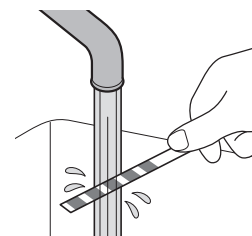
硬度は付属のテスターを使って確認してください。



#### <硬度の確認方法>

- ① 付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約1秒間さらします。
- ② 水気を切り、その後1分間放置します。
- ③ テスターの色が赤色に変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。

| テスター                                                                                | 赤色の数 | 硬度設定値 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
|  | 0    | 1dH   |
|  | 1    | 6dH   |
|  | 2    | 11dH  |
|  | 3    | 16dH  |
|  | 4    | 21dH  |
|  | 5    | 26dH  |



# はじめてお使いになるときは (続き)

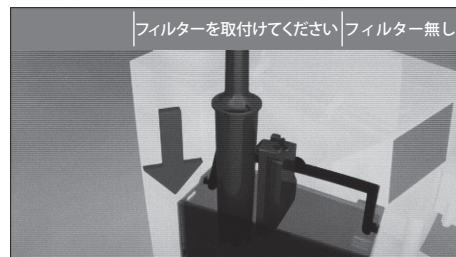
8

「[フィルターを取付けてください]」と表示されるので、  
**給水タンクにフィルターを取り付けます。**

フィルターは必ずクラリススマートフィルターを使用してください。

●クラリススマートフィルター（以降、クラリスフィルター）は水道水に含まれる鉛、銅、アルミニウム、塩素などのおいしいコーヒーには好ましくない物質を除去し、最適な水にろ過します。

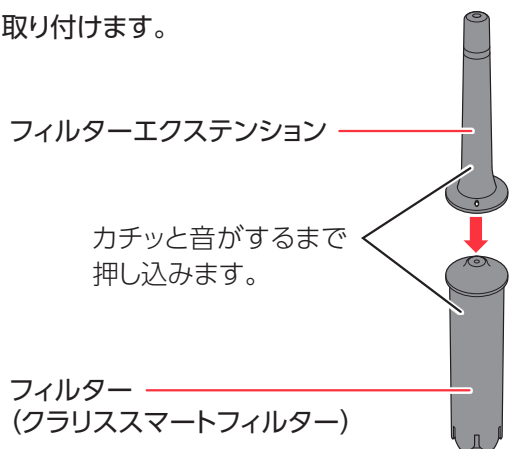
●クラリスフィルターはコーヒーマシンの加熱ブロックに堆積して風味と機能を損なう原因となる石灰分を 75% 除去します。そのため、カルシウム（CA）除去の頻度を大幅に削減することができます。クラリスフィルターを使用しなければ、半月に一度のカルシウム（CA）除去が必要になり、さらには、コーヒーマシンの寿命を短くしてしまうことになります。クラリスフィルターを使わずにコーヒーマシンをご利用されたり浄化能力が落ちてしまった状態（設定画面に「フィルター交換」と表示されている）で使い続けたりすることはお勧めいたしません。



① 抽出口の下に容器（500ml 以上のもの）を置きます。

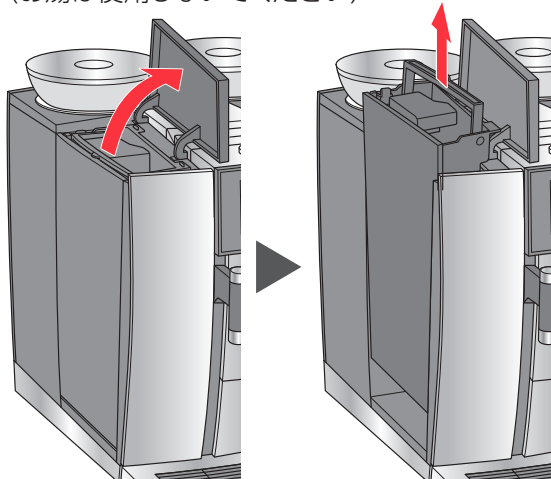


② フィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。

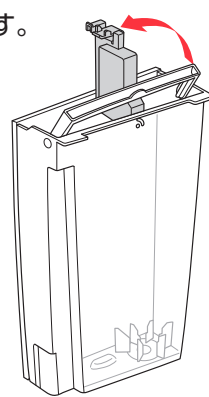


③ 本体のふたを開け、給水タンクを取り外します。

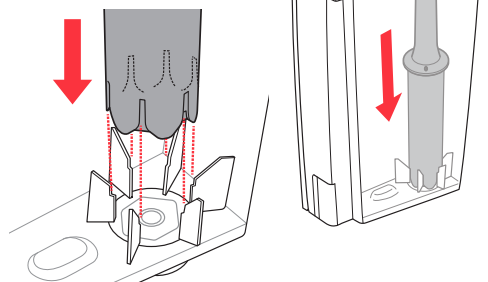
給水タンクは水で軽く洗ってください。  
（お湯は使用しないでください）



④ フィルターホルダーを開けます。



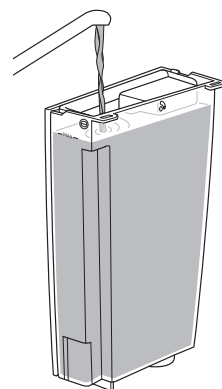
⑤ 給水タンク底のみぞに合わせてフィルターを取り付け、フィルターホルダーを閉めて固定します。



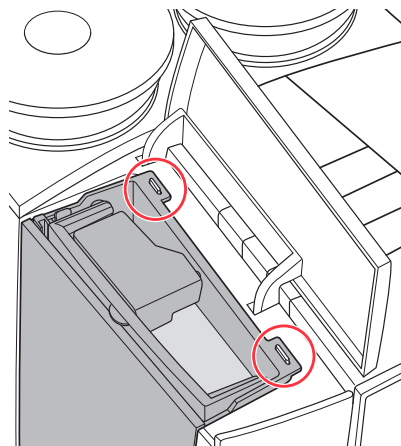
⑥ MAX ライン（約 2.4L）まで水を入れます。

**お願い**

MAX ライン以上の水を入れて使用しないでください。



- ⑦ 給水タンクを本体に取り付け、ふたを閉めます。  
給水タンクのつめを本体のみぞに確実に取り付けてください。



- ⑧ [ロータリースイッチを押して下さい] と表示されたら、ロータリースイッチを押します。

フィルターすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
フィルターすすぎ中は抽出口からお湯が出ます。

※すすぎ中は通常より大きな音があります。



**注意**

フィルターすすぎ中は、  
抽出口からお湯が出るので、  
やけどに注意する。

[フィルターのすすぎ完了] と表示された後、  
[システム内に水を供給中] と表示されますので、さらに少し待ちます。

**9**

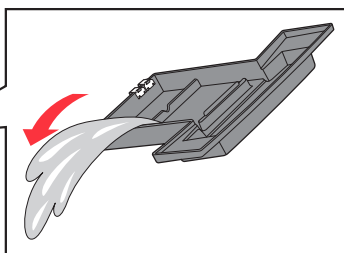
[排水トレイを空にしてください] と表示されたら、  
**排水トレイにたまった水を捨て、すすいだ後、排水トレイを本体に戻します。**

トレイユニットを引き出すと、自動的にトレイユニットカバーが開きます。

トレイユニットを元に戻すときは、本体に押し込んでから、手でトレイユニットカバーを閉じてください。



トレイユニットを引き出す  
ときは、抽出ヘッドを上げ  
てください。(破損の原因)



**注意**

コーヒーすすぎ中は、抽出口  
からお湯が出るので、やけど  
に注意する。

コーヒーすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
コーヒーすすぎ中は抽出口からお湯が出ます。

# はじめてお使いになるときは (続き)

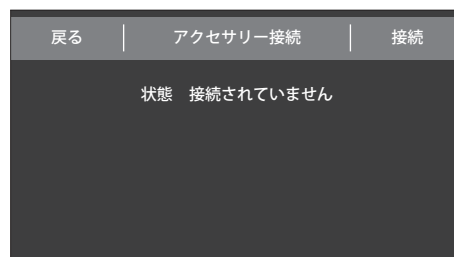
10

【アクセサリ接続】画面が表示されるので、アクセサリを設置する場合は画面の指示に従って、アクセサリを設定します。

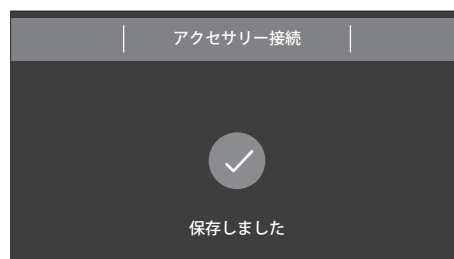
- ① Cool Control などのアクセサリ機器を設置して、電源を入れ、接続可能な状態にします。  
本製品との距離が 0.5m 以下になるように設置してください。
- ② 【接続】 をタッチして選択します。



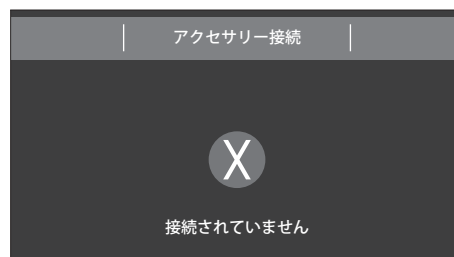
- ③ 画面に「状態 接続されていません」と表示されたら、再度【接続】 をタッチします。



「保存しました」と表示されたら接続は完了です。



- 接続に失敗すると「接続されていません」と表示されます。本製品とアクセサリとの距離を変えて、再度お試しください。
- 何度も接続に失敗するときは、アクセサリ本体のリセットが必要な可能性があります。Cool Control の場合、電源が入っている状態で電源ボタンを3秒以上長押しして、工場出荷時の状態にリセットしてください。(リセット後は、再度キャリブレーションをする必要があります。Cool Control の取扱説明書を参照してください)
- 【アクセサリ接続】 の設定をスキップする場合は【次へ】 をタッチします。

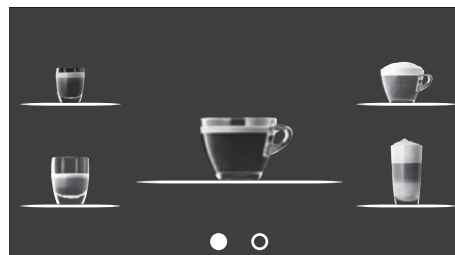


11

【Wi-Fi 接続】画面が表示されるので、Wi-Fi に接続する場合は画面の指示に従って、Wi-Fiを設定します。

- 本製品の Wi-Fi への接続方法は、別紙の取扱説明書をご参照ください。
- 【Wi-Fi 接続】 の設定をスキップする場合は【次へ】 をタッチします。

ホーム画面が表示されたら、準備完了です。



# 抽出前の準備

## 給水タンクに水を入れる

給水タンクに水を入れ、本体に取り付けます。

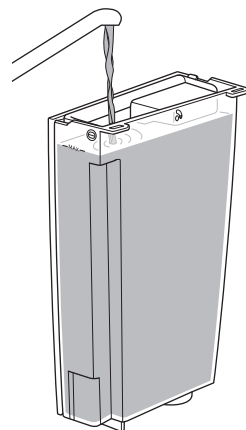
### 1 MAXライン(約2.4L)まで水を入れます。

※ 水道水を使用してください。

#### お願い

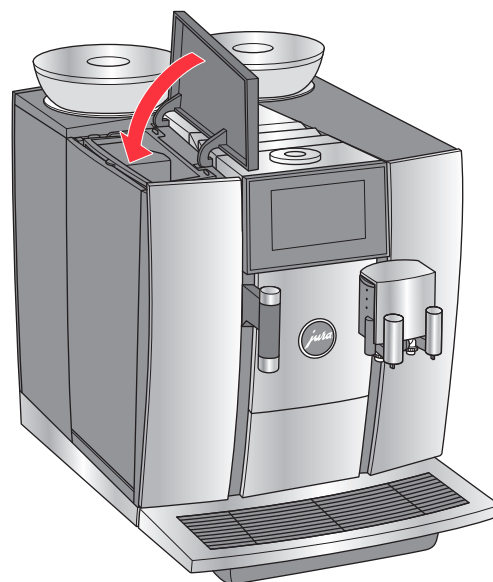
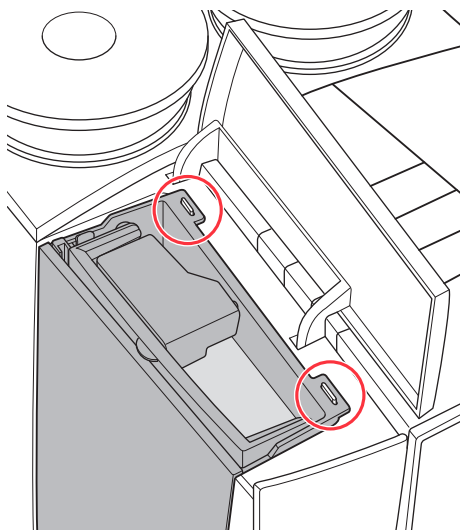
MAX ライン以上の  
水を入れて使用し  
ないでください。

—MAX—



### 2 給水タンクを本体にセットし、ふたを閉めます。

給水タンクのつめを本体のみぞに確実に取り付けてください。



# 抽出前の準備 (続き)

## コーヒー豆を入れる

### お願い

故障の原因になりますので、以下を守ってください。

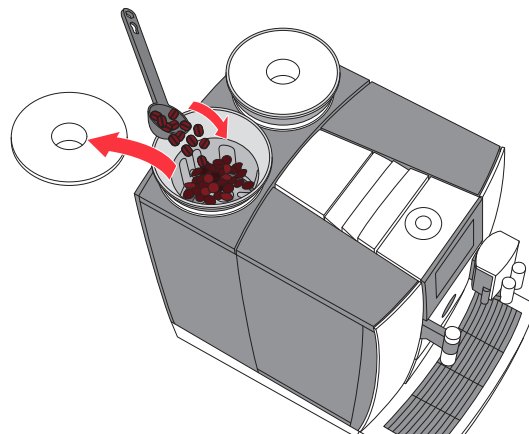
- コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆以外のものや挽いた豆を入れないでください。
- 冷凍庫や冷蔵庫に入れたコーヒー豆は結露をなくすため、室内にしばらく置き、室温に戻してからご使用ください。
- フレーバーコーヒーはお使いいただけません。

### 1 ホッパーふたを外します。

### 2 コーヒー豆をホッパーに入れます。

コーヒー豆は、入れすぎないようにご注意ください。  
ホッパーふたが閉まらなくなります。  
(空の状態でご上限約 360g)

### 3 ホッパーふたを閉めます。



## コーヒー豆の挽き方を調整するときは

- ① ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押して、設定画面を表示させます。
  - ② 設定画面で、 をタッチして、マシン設定画面を表示させます。
  - ③ マシン設定画面で「挽き粗さ設定」をロータリースイッチを回して選択し、押して決定します。
  - ④ 挽き目を選択し、「保存」をタッチして選択します。
- ※ 挽き目は左右グラインダーでそれぞれ変更が可能です。



## コーヒー粉を使うとき

- ミルク使用メニューを抽出する場合は、あらかじめミルクをセットしておく必要があります。(17 ページ参照)。

- ① コーヒー粉投入口のふたを開けます。  
画面に「コーヒー粉を入れてください」と表示されます。
- ② コーヒー粉を投入し、ふたを閉じます。  
抽出をしたいメニューをタッチすると、抽出が始まります。  
ふたを閉じてから 1 分以内に抽出してください。

### 使用できるコーヒー粉

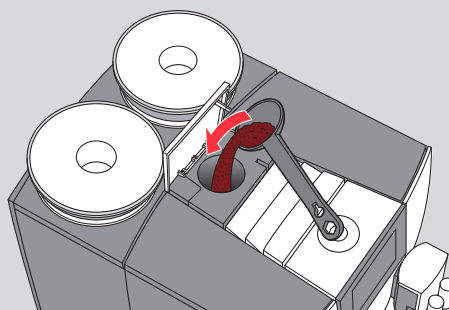
「中細挽き」または「中挽き」

### 投入量

約 8 (付属コーヒースプーンすりきり 1 杯) ~ 最大 16 g  
※ コーヒー粉が上記より少ない場合、抽出されずに、粉がかす受け容器に排出されます。必ず適量を投入してください。

### お願い

コーヒー粉は一度の抽出につきコーヒースプーンすりきり 2 杯より多く投入しないでください。  
故障の原因になります。



- インスタントコーヒーはご使用になれません。
- 粉は、「中細挽き」または「中挽き」のものをご使用ください。  
挽き目が細かすぎると、コーヒーの出が悪くなる場合があります。
- 粉を投入してから、約 1 分以内に抽出しないと、自動的にかす受け容器に粉が排出されます。  
入れ直す場合は、改めてコーヒー粉を投入してください。
- コーヒー粉投入口が粉の付着等で汚れた場合は、取り外して清掃してください。  
(コーヒー粉投入口は、ふたを上へ引っぱると取り外すことができます)



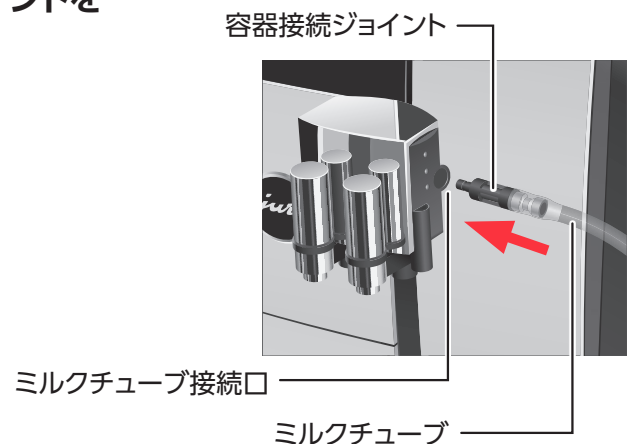
## ミルクチューブを接続する

ミルクを使うメニューを使用する場合は、付属のミルクチューブを本体に接続します。

### 1 抽出口の横にあるミルクチューブ接続口キャップを取り外します。

※ ミルクチューブ接続口キャップは、なくさないように保管し、ミルクメニューを作らないときは、取り付けておいてください。

### 2 ミルクチューブ(付属)の容器接続ジョイントをミルクチューブ接続口に差し込みます。



### 3 ミルクジョイントをミルクが入った容器に差し込みます。



ポイント

使用する牛乳について

8℃以下の冷たい成分無調整牛乳（乳脂肪分 3.5% ～ 4.5%）を使用してください。

※ ぬるい牛乳や成分調整乳を使用すると、泡立ちが良くない場合があります。

## 付属品を接続する

本製品には JURA Wi-Fi Connect が装備されています。これにより、対応する JURA 付属品 (Cool Control など) に本製品をワイヤレスで接続できます。(Smart Connect も使用可)

### 1 ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。

設定画面が表示されます。

### 2 マシン設定 をタッチして選択します。

### 3 マシン設定画面で[アクセサリ接続]をロータリースイッチを回して選択し、押して決定します。

### 4 画面の指示に従って、付属品を本製品に接続します。

付属品が Cool Control の場合は 14 ページを参照してください。



# コーヒーを抽出する

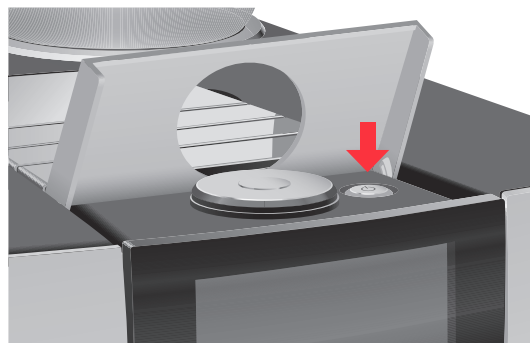
1

## 電源を入れます。

- ① 接続プラグを、本体のプラグ差込口に差し込みます。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ③ 本体の電源スイッチを押します。

自動的にヒーター（マシン内部の加熱）とすすぎがおこなわれます。

ヒーター・すすぎ中は、抽出口からお湯が出ます。  
コーヒーが抽出可能になるまで約 1 分かかります。



2

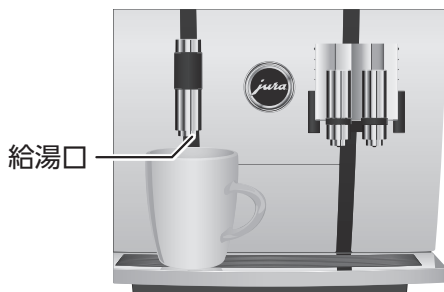
## カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。

- 背の低いカップの場合、抽出ヘッドの位置が高すぎると、コーヒーやミルクが飛び跳ねる恐れがありますので、適度な高さに調節してください。
- 2 本の抽出口の真下にカップを置いてください。

コーヒーやミルクを使用するメニューの場合



熱湯・熱湯（お茶用）の場合



給湯口の真下にカップを置きます。

2 杯抽出する場合



2 杯同時に抽出する場合は、左右にカップを置きます。

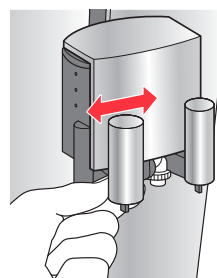


### ポイント

- コーヒーは左右の抽出口から同時に抽出されます。
- エスプレッソドoppio以外のメニューは 2 杯同時に抽出することができます。
- 左右で抽出量に差が出る場合があります。

## ⚠ 注意

コーヒー・ミルク抽出口を左右に動かす際は下部の根元を持って動かす。  
破損（折れる）の原因になります。



3

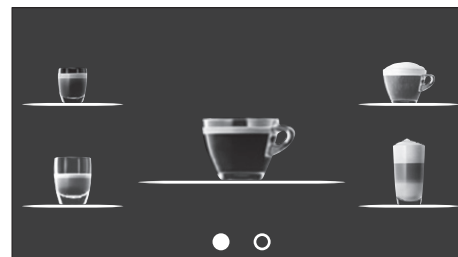
ホーム画面が表示されたら、

**ご希望のメニューをタッチして選択します。**

**抽出が開始されます。**

2 杯同時に抽出するときは、1 杯抽出するときに対して、2 倍の湯量で抽出されます。(粉量は濃度設定の約1.7倍使用) そのため、コーヒー濃度を濃い目に設定 (32 ページ参照) している場合は、実際の設定より薄く抽出される場合があります。

※ 蒸らしのときに少量のコーヒーが抽出される場合があります。



### 抽出中は

- 抽出中に、コーヒーの量・濃さ、ミルク量の設定画面が表示されたら、画面をスワイプまたはロータリースイッチを操作することで調節できます。ここで設定された量や濃さは記憶されず、次回抽出時にはリセットされます。
- 抽出を途中で止めたいときは、[キャンセル] をタッチして選択します。
- 抽出完了時に [保存] をタッチして選択すると記憶します。

### ● コーヒーが抽出されないときは

アラーム表示 (34 ページ) をご確認ください。

### ● 使い始めやしばらく使用していなかったときは

内部にコーヒー粉が充填されていないと抽出が途中で止まる場合があります。

その場合は再度抽出してください。



**注意**

抽出中は、やけどに注意する。

### 抽出後は

#### ● コーヒーを抽出した後は

コーヒー抽出後、マシンすすぎをせずに電源ボタンを押すと、自動的にマシンすすぎがおこなわれてから電源がオフになります。

コーヒー抽出後の電源オフ時は、抽出口の下に容器を置いてください。

#### ● ミルクメニューを使用した後は

ミルクメニューを抽出すると、約 15 分後に自動でミルクシステムすすぎがおこなわれます。

ミルクメニューの抽出完了後、抽出口の下に容器を置いてください。

※ マシンすすぎ・ミルクシステムすすぎは、手動でおこなうこともできます。(21 ページ参照)



**ポイント**

#### オフまでの時間設定

電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。オフになるまでの時間は設定することができます。(31 ページ参照)

## お湯を注ぐ

1

**給湯口の下にカップを置きます。**

2

**熱湯メニューをタッチして選択します。**

給湯口からお湯が出ます。(初期設定 220ml)

- くり返し抽出するときは、コーヒー等も含め、1 時間に 5 杯以内にしてください。

抽出杯数が多いと、故障の原因となります。



**注意**

- お湯を注いでいるときは、やけどに注意する。
- お湯は抽出口ではなく、向かって左側の給湯口から出るので、注意する。



# 使用中は

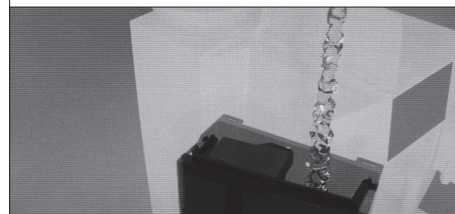
## 給水する

画面に「水タンクに水を入れてください」と表示されたら、給水します。

目安として、給水タンクにMAXラインまで水を入れた状態で、コーヒーを約 20 杯分※抽出できます。  
給水タンクを本体に戻すと、画面は元に戻ります。

※ 初期設定 100ml の場合

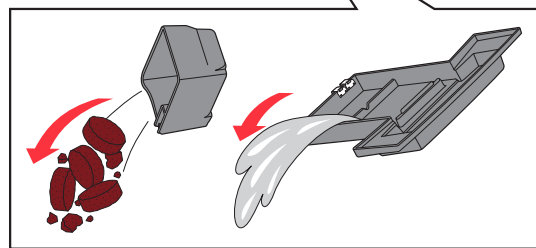
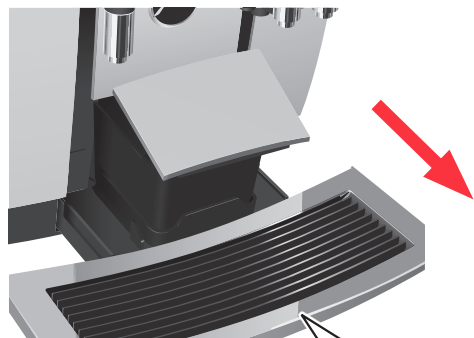
水タンクに水を入れてください



## コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる

画面にメッセージが表示されたら、トレイユニットを引き出し、コーヒーかすや排水を捨ててください。

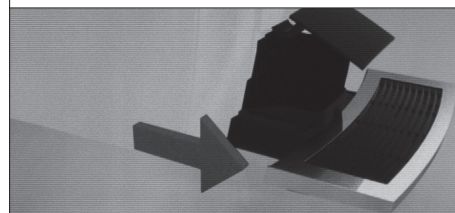
排水トレイの金属部はきれいに拭いてからマシンに戻します。  
(35 ページ参照)



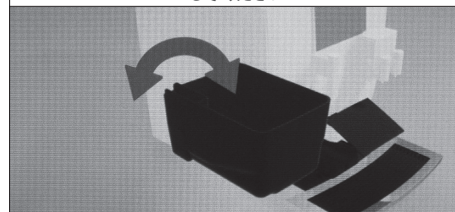
### お願い

製品が動作しているときは、トレイユニットを引き出さないでください。(35 ページ参照)  
トレイユニットがセットできなくなるおそれがあります。  
(故障の原因)

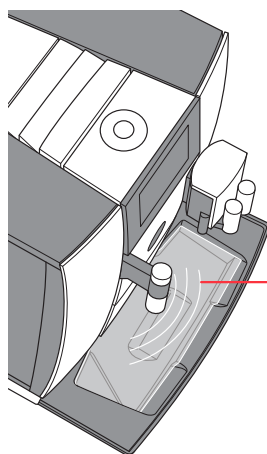
排水トレイを空にしてください



カス容器を空にしてください



### ⚠ 注意



排水トレイに水を貯めすぎない。  
なるべくこまめに捨ててください。  
コーヒーを抽出した後、コーヒーかすの水分を取るため毎回少量の水がトレイに排出されます。

目安として、水位が排出トレイ内側のふちに達する前に捨てるようにしてください。

### お願い

コーヒーかすを捨てる時の注意 (かす受け容器のカウンターリセット方法)

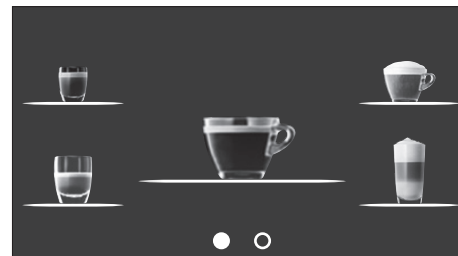
- 電源を入れた状態でおこなう
- トレイユニットは、本体から取り出してからセットするまで 10 秒以上時間をおく

トレイユニットを引き出すときに電源をオフにしていたり、トレイユニットを引き出してからセットする時間が 10 秒より短いと、カウンターがリセットされず、かすがたまっていなくても「カス容器を空にしてください」と表示されることがあります。

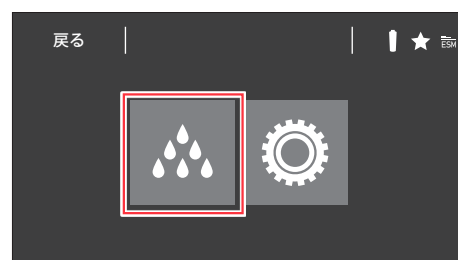
## [すすぎ] をする

汚れが気になる場合は、抽出口をすすぐことができます。

**2** ホーム画面が表示された状態で  
ロータリースイッチを押します。



**3** 設定画面で、 メンテナンス設定を  
タッチして選択します。



**4** メンテナンス設定画面で  
[すすぎ]をタッチして選択します。



マシンすすぎ・ミルクシステムすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
すすぎ中は各抽出口からお湯が出ます。

設定画面が表示されたら、すすぎは完了です。

### 注意

マシンすすぎ、ミルクシステムすすぎ中は、各抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

## 電源をオフにする

電源ボタンを押します。

メンテナンスをおこなう必要がある場合、電源ボタンを押してもすぐに電源オフにはなりません。必要なメンテナンスのアイコンが表示された設定画面に移動します。表示されるアイコンは以下の通りです。

・[ミルクシステムクリーニング] ・[マシン洗浄] ・[フィルター交換] ・[CA 除去]

- メンテナンスをせずに電源をオフにする場合は、再度電源ボタンを押すか、[電源を切る] をタッチしてください。
- 必要なメンテナンスをおこなうと、通常の設定画面に戻ります。

# 使用後のお手入れ

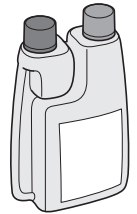
使用後は毎回、ミルク経路のお手入れとフォームフローサーの分解清掃（ミルクメニュー使用時のみ）、および給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄をおこないます。

## 1 日の終わりに ミルク経路のお手入れ

- 所要時間はおよそ 2 分間です。
- ミルクメニューを使用したときは、ミルクチューブから抽出口までが汚れます。そのため、ミルクチューブやミルクシステムの内側に残った油脂をきれいに洗い流す必要があります。
- マシンのトラブル発生（抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪いなど）を減少させる対策の 1 つとして、毎回のマシン清掃が不可欠です。清掃することで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したミルクフォームを抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

### お願い

洗浄には必ず専用のミルククリーニング液（ミルクチューブクリーナー）をご使用ください。



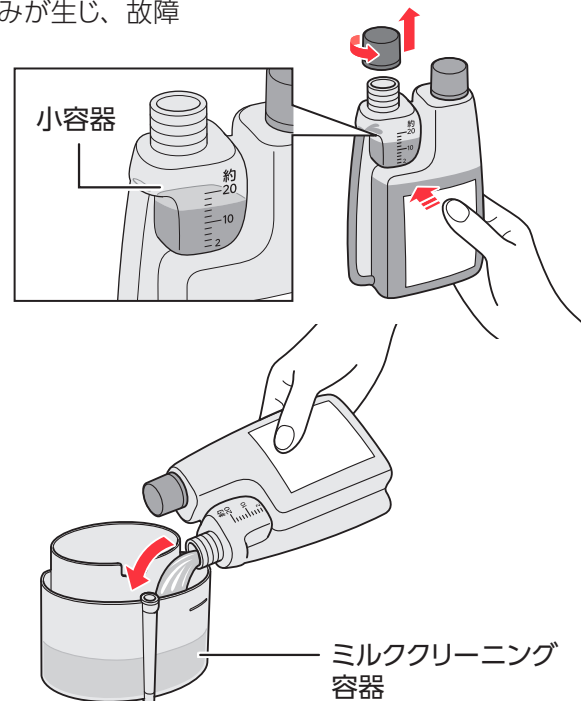
### 1 ミルククリーニング容器(付属)に15mlのミルクチューブクリーナーを入れ、150mlの水で希釈します。

- ① 計量用の小容器のキャップを開け、小容器に 15ml の液が溜まるまで容器を押します。

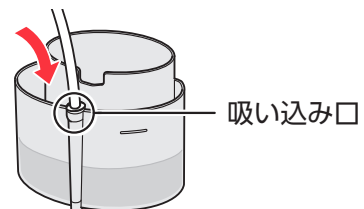
タイプ

ミルクチューブクリーナー

- ② 小容器に溜まったミルクチューブクリーナーを、150ml の水を入れたミルククリーニング容器（付属）の外側の部分に入れます。
- ③ ミルクチューブクリーナー容器のキャップを閉めます。

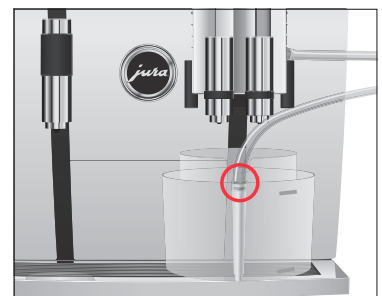


### 2 ミルククリーニング容器の吸い込み口にミルクチューブを差し込みます。

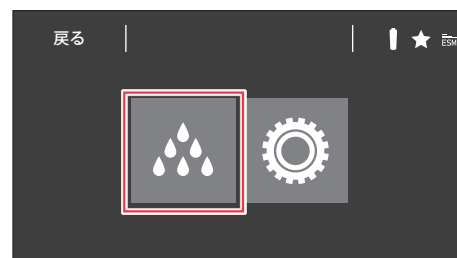


### 3 抽出口の下にミルククリーニング容器を置きます。

### 4 ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。



- 5** 設定画面で、 メンテナンス設定をタッチして選択します。



ミルクメニュー使用後は、設定画面に「ミルクシステムクリーニング」と表示されます。タッチすると、直接「ミルククリーニング」画面に移動します。  
※ ミルク経路のお手入れが完了すると、通常の設定画面に戻ります。

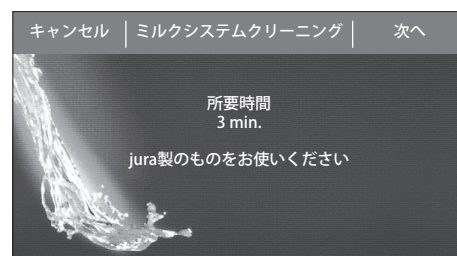


- 6** メンテナンス設定画面から「ミルクシステムクリーニング」をタッチして選択します。



- 7** 画面の案内に従って、クリーニングをおこないます。

**！ 注意**  
クリーニング中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。



クリーニングがおこなわれますので、少し待ちます。  
クリーニング中は抽出口からお湯が出ます。

- 8** 「ミルクすすぎ用の水」と表示されたら、ミルククリーニング容器を水でよくすすいだ後、容器の外側の部分に水を入れ、ミルクチューブを吸い込み口に差し込みます。

すすぎには約 150ml の水が必要です。

- 9** 「進む」をタッチして選択します。

**！ 注意**  
クリーニング中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

すすぎがおこなわれますので、少し待ちます。  
すすぎ中は抽出口からお湯が出ます。

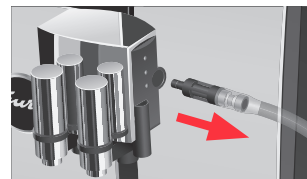
ホーム画面が表示されたら、ミルク経路のお手入れは完了です。



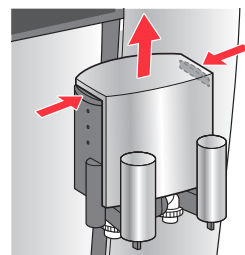
# 使用後のお手入れ (続き)

## 1 日の終わりに フォームフローサーの分解洗浄

ミルク関連メニューをご使用の際には、抽出ノズルを週 1 回分解して、清掃する必要があります。



**1** ミルクチューブ接続口からミルクチューブを外します。

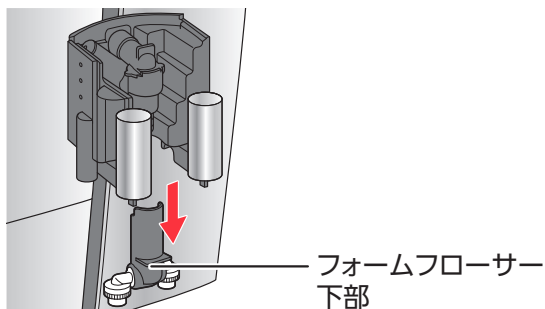


**2** 抽出ヘッドのカバーを外します。

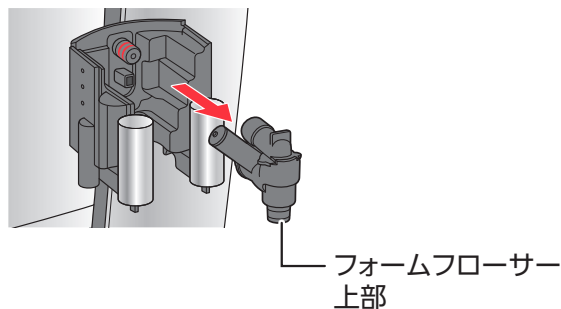
カバー上部の両脇のリリースボタンを押して、カバーを持ち上げて外してください。

**3** フォームフローサーを取り外します。

① フォームフローサー下部を、下に引き抜きます。



② フォームフローサー上部を、手前に引き抜きます。

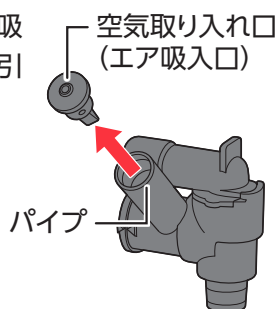


**注意**

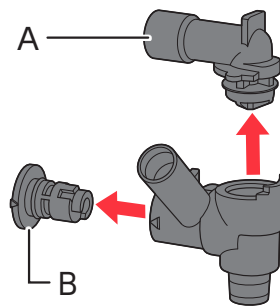
ミルクメニュー使用直後は、フォームフローサーが熱くなっている場合があるので、十分に冷めてから取り外す。

**4** フォームフローサー上部を、4つの部品に分解します。

① 空気取り入れ口（エア吸入口）を、パイプから引き抜いて取り外します。



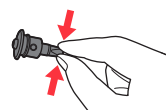
② 下図の部品 A・B を、引っ張って取り外します。



**5** 分解したフォームフローサーを、同梱のブラシセットでブラッシングしながら流水ですすぎます。

5 つの部品に分解したフォームフローサーの内部をブラシで清掃しながら、水できれいに洗い流してください。

指で先端を押して、何度か開いてください。



**お願い**

食器洗浄器、乾燥機、アルコールは使用しないでください。故障の原因となります。

● フォームフローサー抽出口先端は、汚れがひどい場合や摩耗しているときは交換をおすすめします。





## ポイント

汚れがひどい場合、乳石が付着した場合は

ミルクチューブクリーナーを使用してクリーニングします。

① 容器に 15ml のミルクチューブクリーナーを入れ、150ml の水で希釈します。

② 分解したフォームフローサーを①の希釈液に約 15 分間つけ置きします。

③ ブラッシングしながら流水ですすぎます。

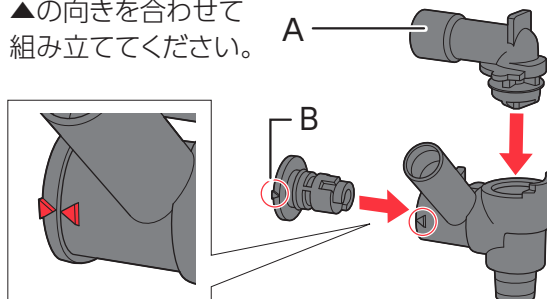
※ 汚れが落ちにくい場合はクリーナーの希釈液に浸す時間を延ばしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、新しいものと交換することをおすすめします。

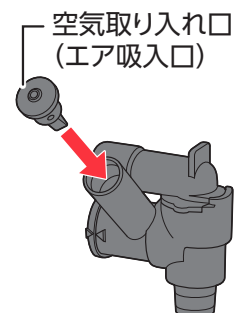
## 6 柔らかい布で各部品の水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フォームフローサー上部を組み立てます。

① 下図の部品 A・B を取り付けます。

▲の向きを合わせて組み立ててください。



② 空気取り入れ口（エア吸入口）を、上に引き抜いて取り外します。



### お願い

フォームフローサーを清掃するときは、組み立て、取り付けを確実にこなってください。

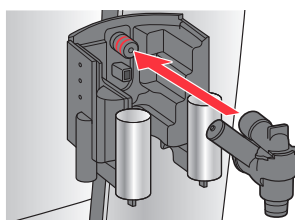
● 柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、組み立ててください。

● 正しく取り付けられていないと、ミルクの出が悪くなります。

## 7 フォームフローサー、抽出カバー、抽出ノズルを本体に取り付けます。

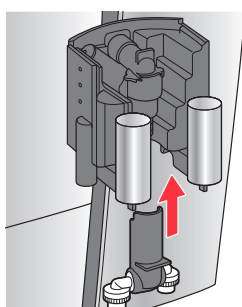
① フォームフローサー上部を、抽出ノズルに差し込みます。

正面から差し込んでください。



② フォームフローサー下部を、抽出ノズルに差し込みます。

下から差し込んでください。

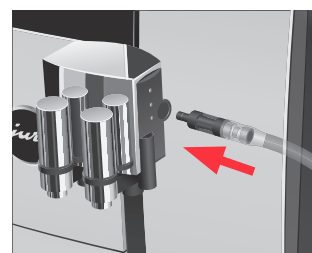


③ 抽出カバーを、抽出ノズルの上にかぶせて取り付けます。

取り付けるとカチンと音がします。固定されているか確認してください。



④ ミルクチューブを、抽出ノズルに差し込みます。



# 定期的なメンテナンス

## 1 日の終りに 給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄

### ⚠ 注意

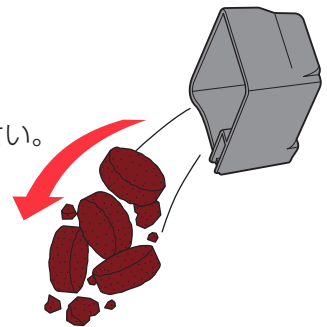
- 本体は水洗いしない。  
感電の原因になります。
- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう。  
やけどの原因になります。

### お願い

- 乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- マシンの表面は傷が付きやすいためメガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- 本体のプラスチック部分清掃にアルコール類を使用しないでください。

### 1 電源を切る前に、トレイユニットを引き出し、かす受け容器に入っているかすを捨てます。

トレイユニットは引き出してから、セットするまで 10 秒以上時間をおいてください。



### 2 かす受け容器を戻し、トレイユニットを本体に戻します。

### 3 電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ マシン洗浄（27 ページ）後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源が切れます。マシン洗浄後に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源が切れます。

### 4 トレイユニットと給水タンクを取り外し、洗います。また、本体内部を清掃します。

#### 給水タンク

給水タンク内の水を捨て、フィルターを外した後、中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フィルターを給水タンクにセットして本体に戻します。

#### 本体内部

トレイユニットを引き出した状態で、本体内部のコーヒーやコーヒーかす汚れを、かたくしぼった布巾や柔らかいブラシ・刷毛で取り除いてください。※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

#### かす受け容器、排水トレイ、カップ受け

トレイユニットを引き出し、排水トレイにたまっている水を捨てたあと、かす受け容器、排水トレイ、カップ受けを中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、かす受け容器をトレイユニットに戻し、本体にトレイユニットを戻します。

※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

### ⚠ 注意

コーヒーかすや排水トレイの水は熱い場合があるので、注意する。  
やけどの原因になります。

### お願い

トレイユニットは動作音がしなくなってから取り外してください。

トレイユニットがセットできなくなるなどの不具合が起きる可能性があります。

（セットできなくなった場合は 35 ページの「こんなときは」を参照してください）

## 設定画面に「マシン洗浄」と表示されたら

## マシン洗浄をする

設定画面に「マシン洗浄」と表示され、ホーム画面にメンテナンス設定  アイコンが表示されたら、以下の手順でマシン洗浄をおこなってください。

(所要時間：約 20 分)

●目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすずぎが 80 回おこなわれると、設定画面に「マシン洗浄」と表示されます。

●マシン洗浄をするとカウンターはリセットされます。

※ 1 週間程度使用しない場合は、マシン洗浄をしてください。



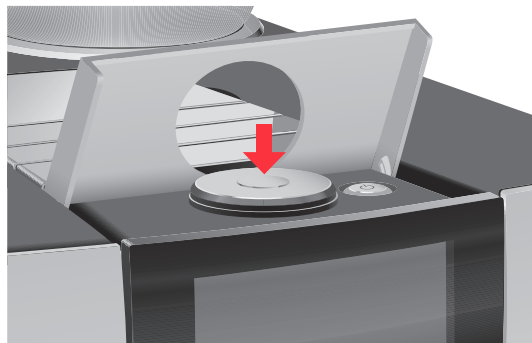
### ポイント

設定画面に「マシン洗浄」と表示される前にクリーニングする場合

- ① 設定画面から  メンテナンス設定をタッチして選択します。
- ② メンテナンス設定画面から「マシン洗浄」をタッチして選択します。
- ③ **2** 以降の手順をおこないます。

**1** ホーム画面が表示された状態で、ロータリースイッチを押します。

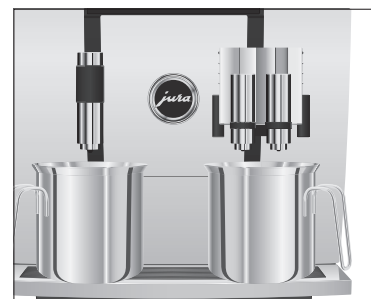
**2** 設定画面で、「マシン洗浄」をタッチして選択します。



**3** 画面の案内に従って、「スタート」、「進む」をタッチします。

**4** 「カス容器を空にしてください」と表示されたら、トレイユニットを引き出し、かす受け容器を空にして、本体に戻します。

**5** 給水タンクに水を入れ、容量が300ml以上の容器を抽出口と給湯口の真下に置きます。



**6** 「進む」をタッチして選択します。



### 注意

マシン洗浄中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

マシンの洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。  
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

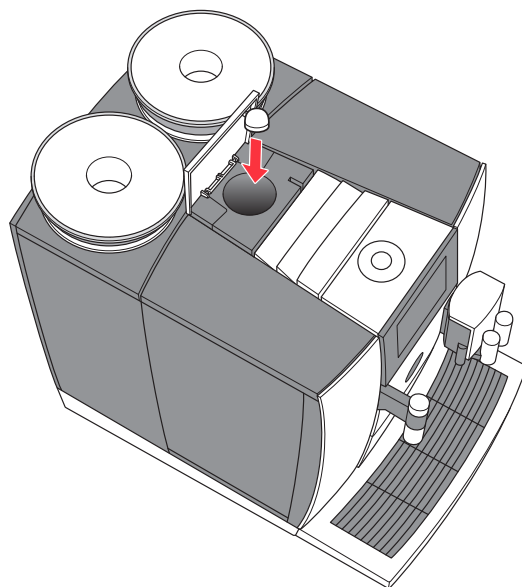
# 定期的なメンテナンス (続き)

- 7** 「洗剤を入れてください」と表示されたら、  
本体のコーヒー粉投入口からマシクリーナー  
1錠を投入し、投入口のフタを閉めます。

※ 投入のタイミングが異なると、マシクリーナーはかす  
受け容器に落下します。

マシクリーナーは弊社指定のものをお使いください。

| タイプ             |
|-----------------|
| マシクリーナー (100 錠) |



- 8** 「ロータリースイッチを押して下さい」と表示されたら、  
ロータリースイッチを押します。



**注意**

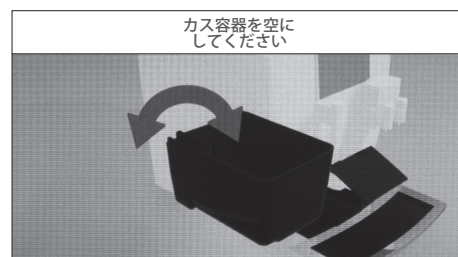
マシン洗浄中は、抽出口からお湯や蒸気が出るの  
で、やけどに注意する。

マシンの洗浄がおこなわれますので、約 10 分ほど待ちます。  
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

- 9** 「カス容器を空にしてください」と表示されたら、  
トレイユニットを引き出して、かす受け容器と  
排水トレイを空にします。

※ 排水トレイおよびかす受け容器には排水が溜まります。

「クリーニングが完了しました」と表示されたら、  
マシンの洗浄は完了です。



## 定期的に ホッパーのお手入れ

- 1** 電源ボタンを押して電源をオフにします。

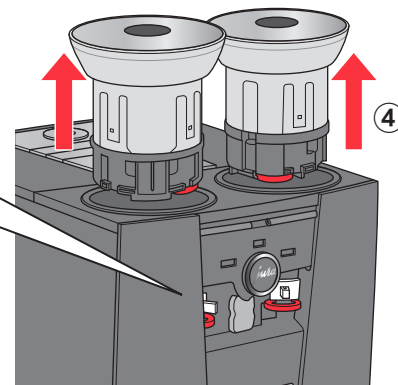
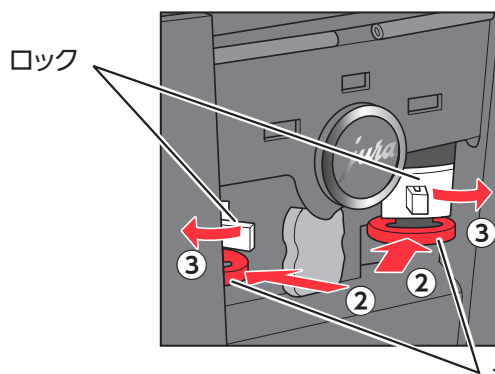
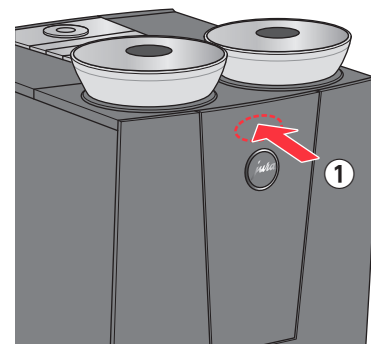
電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。  
すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ マシン洗浄 (27 ページ) 後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源が切れます。マシン洗浄後  
に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源が切れます。

## 2

### ホッパーを取り外します。

- ① 本体の背面のロゴマーク上部を押してカバーを開けます。
- ② 赤色のスライドキャッチ（2箇所）を奥まで押し込みます。  
ホッパーが閉じます。
- ③ 青色のロックを外側に向けます。  
ホッパーのロックが外れます。
- ④ ホッパーを取り外します。



スライドキャッチ

## 3

### ホッパーをお手入れします。

ホッパーとホッパーふたを、乾燥した柔らかい布で拭いてください。

#### お願い

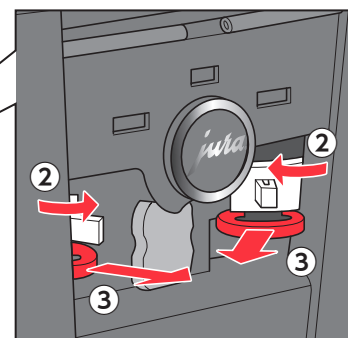
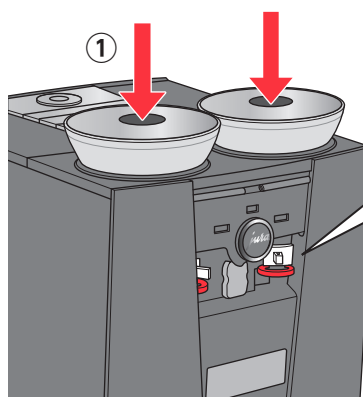
ホッパーは湿った布で拭かないでください。  
グラインダーがさびる原因になります。



## 4

### ホッパーを取り付けます。

- ① 本体天面にホッパーをはめ込みます。
- ② 青色のロックを内側に向けます。  
ホッパーが固定されます。
- ③ スライドキャッチを手前に引き出します。
- ④ 本体の背面カバーを閉じて、背面のロゴマーク上部を押して固定します。



# 定期的なメンテナンス（続き）

## 設定画面に「フィルター交換」と表示されたら フィルターを交換する

フィルター交換時期になると、ホーム画面の左下にメンテナンス設定  アイコンが表示され、設定画面に「フィルター交換」と表示されます。また、フィルターマークが赤く点灯します。

以下の手順でフィルターの交換をおこなってください。

フィルターは必ず「クラリスマートフィルター」をお使いください。

※ フィルターを交換せずにマシンを使用し続けた場合は、設定画面に「CA 除去」と表示されます。

（34 ページ参照）

### お願い

浄水能力の低下が始まりますので、フィルターを取り付けて 2 ヶ月が経過したら、フィルターマークが赤く点灯していなくても、以下の手順でフィルターを交換してください。

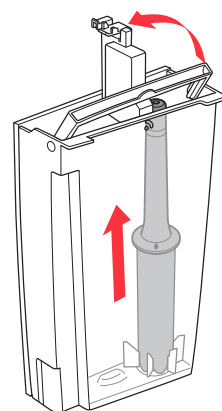
1

### フィルターを取り外します。

- ① 本体のふたを開けて給水タンクを外し、タンク内の水を捨てます。
- ② フィルターを持ち上げて外します。
- ③ フィルターエクステンションを取り外します。

タイプ

クラリスマートフィルター



2

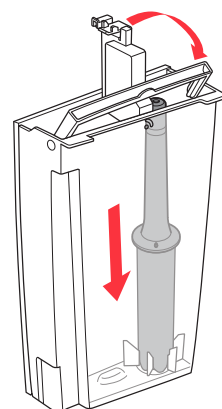
### 新しいフィルターを取り付けます。

フィルター取り付けの詳しい手順は 12 ページ「はじめてお使いになるときは 6」の手順を参照してください。

- ① 新しいフィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。
- ② 新しいフィルターを給水タンクに取り付けます。
- ③ 給水タンクに水を入れ、マシンにセットします。

新しいフィルターを取り付けると、マシンが自動的にフィルターを検出します。

- ④ 画面の案内にしたがってフィルターすすぎをおこないます。



ホーム画面が表示されたら、フィルター交換の手順は完了です。

## ■ クラリスフィルターの使用期限

- クラリスフィルターの浄水能力には限りがあります。一定量に達すると交換時期をお知らせします。
- 浄化能力は水の硬度で変わります。よりミネラルなどを含む硬度の高い水をご使用の地域の場合、浄化可能な水量は少なくなります。

## ■ クラリスフィルターご利用可能日数の目安表

| 水の硬度     | 使用日数の目安 |
|----------|---------|
| 1 ～ 5°   | 約 22 日  |
| 6 ～ 10°  | 約 20 日  |
| 11 ～ 15° | 約 18 日  |
| 16 ～ 20° | 約 17 日  |
| 21 ～ 25° | 約 15 日  |
| 26 ～ 30° | 約 13 日  |

- 1 杯の標準量を 100ml、1 日の抽出数を 10 杯とした場合の目安です。

※ あくまでも目安であり、その数値を保証するものではありません。



# 設定

ホーム画面が表示された状態でロータリースイッチを押すと、設定画面が表示されます。

## メンテナンス設定画面

|                   |                                                                                                                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ミルクシステム<br>クリーニング | ミルク経路のお手入れをします。<br>1 日の終わりにおこなってください。<br>(22 ページ参照)                                                                                                                |
| マシン洗浄             | マシンの内部を洗浄します。<br>本メニューを使用しなくとも、目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回<br>おこなわれると、設定画面に[マシン洗浄]と表示されてマシン洗浄が促されます。設定画面に[マ<br>シン洗浄] と表示される前に実施する場合、本メニューをご使用ください。(27 ページ参照) |
| フィルター交換           | 赤のラインでフィルターの交換時期を示します。フィルター交換時期がきたら、設定画面に [フィル<br>ター交換] と表示されます。(30 ページ参照)                                                                                         |
| CA 除去             | 水垢の除去が必要な場合、CA 除去マークが画面に表示されます。その際に操作が必要になる<br>メニューです。<br>この表示がされたら、弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去し<br>てください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。                   |
| すすぎ               | コーヒー・ミルク抽出口をすすぎます。(21 ページ参照)                                                                                                                                       |
| メンテナンス情報          | おすすめのメンテナンス情報を表示します。                                                                                                                                               |
| 表示ロック             | ロゴが表示された状態でタッチパネルをロックします。<br>ロータリースイッチを押すとロックが解除されます。                                                                                                              |

## マシン設定画面

|           |                                                                                                |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オフまでの時間設定 | 一定時間操作をしないときに、マシンが自動的に電源オフになるまでの時間を設定します。<br>[15 分、30 分、1 ～ 9 時間 (1 時間ごと)]                     |
| 時刻        | タイマー機能を利用するための時刻を設定します。                                                                        |
| 日付        | タイマー機能を利用するための日付を設定します。                                                                        |
| タイマー      | 自動的に電源をオン／オフする時間を設定します。                                                                        |
| 挽き粗さ設定    | 各グラインダーのコーヒー豆の粒度を設定します。                                                                        |
| 省エネルギー    | 省エネモードのオン／オフを設定します。<br>オンに設定すると、コーヒーを抽出したあと、本体は加熱を終了します。<br>オフに設定すると、コーヒーやお湯を待ち時間少なく注ぐことができます。 |
| スマートモード   | スマートモードのオン／オフを設定します。<br>オンに設定すると、ホーム画面に表示されるメニューが抽出頻度にしたがって並び替えられます。<br>製品出荷時はオフに設定されています      |
| メニュー名     | ホーム画面に表示するメニューアイコンのメニュー名表示／非表示を設定します。                                                          |
| 初期設定に戻す   | 本機を工場出荷時の設定にリセットします。                                                                           |
| 単位表記      | 水量の単位 (ml / oz) を設定します。                                                                        |
| 時刻表示方法    | 時刻の表示形式 (24 時間表記 / AM・PM) を設定します。                                                              |
| 表示設定      | 画面の明るさを設定します。                                                                                  |
| 水の硬度      | 水の硬度を設定します。                                                                                    |
| 言語の選択     | マシンで表示する言語を設定します。                                                                              |
| Wi-Fi 接続  | 本製品に装備されている JURA Wi-Fi Connect を設定します。                                                         |
| アクセサリ接続   | 本機と JURA 付属品のワイヤレス接続を設定します。                                                                    |
| システムを空に   | 本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。                                                                             |
| 合計抽出杯数    | 使用回数を表示します。                                                                                    |
| お手入れ回数    | メンテナンス回数を表示します。                                                                                |
| バージョン     | ソフトウェアのバージョンを表示します。                                                                            |

# 設定 (続き)

## メニューの設定

ホーム画面で各メニューアイコンを長押し (約 2 秒間長押し) すると、そのメニューの詳細設定画面が表示されます。

|        |                                                     |
|--------|-----------------------------------------------------|
| メニュー設定 | 各メニューの抽出量や温度、ミルクの量などを設定します。                         |
| メニュー名  | メニューのイニシャル (または名前) を変更します。                          |
| 削除     | ホーム画面からメニューを削除します。                                  |
| 位置変更   | ホーム画面のメニューを置き換えます。                                  |
| コピー    | メニューをコピーします。<br>設定変更したメニューをオリジナルメニューとして保存することができます。 |
| × 2    | 選択したメニューを 2 杯分抽出します。(熱湯は設定できません)                    |

### 設定可能項目

● ( ) の数値は初期値です。

| メニュー名        | 容量※1            | コーヒーの濃度   | 温度※2      | フォーム量※3          |
|--------------|-----------------|-----------|-----------|------------------|
| エスプレッソ       | 15~80ml(45ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | —                |
| 2xエスプレッソ     | 15~80ml(45ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | —                |
| エスプレッソドoppio | 30~160ml(90ml)  | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | —                |
| コーヒー         | 25~240ml(100ml) | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | —                |
| 2xコーヒー       | 25~240ml(100ml) | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | —                |
| ポットコーヒー      | 25~240ml(70ml)  | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | —                |
| アメリカーノ       | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (6) | 低/中/高 (中) | —                |
| 2xアメリカーノ     | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (6) | 低/中/高 (中) | —                |
| アメリカーノL      | 25~240ml(120ml) | 10 段階 (6) | 低/中/高 (中) | —                |
| 2xアメリカーノL    | 25~240ml(120ml) | 10 段階 (6) | 低/中/高 (中) | —                |
| カプチーノ        | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (8) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (14 秒) |
| 2xカプチーノ      | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (8) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (14 秒) |
| ラテマキアート      | 25~240ml(45ml)  | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (18 秒) |
| 2xラテマキアート    | 25~240ml(45ml)  | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (18 秒) |
| マキアート        | 15~80ml(25ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (3 秒)  |
| 2xマキアート      | 15~80ml(25ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (3 秒)  |
| コルタード        | 15~80ml(25ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (1 秒)  |
| 2xコルタード      | 15~80ml(25ml)   | 10 段階 (8) | 低/中/高 (高) | 0 ~ 120 秒 (1 秒)  |
| フラットホワイト     | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (2 秒)  |
| 2xフラットホワイト   | 25~240ml(60ml)  | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (2 秒)  |
| カフェラテ        | 15~160ml(100ml) | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (0 秒)  |
| 2xカフェラテ      | 15~160ml(100ml) | 10 段階 (5) | 低/中/高 (中) | 0 ~ 120 秒 (0 秒)  |
| ミルク          | —               | —         | —         | 0 ~ 120 秒 (0 秒)  |
| 2xミルク        | —               | —         | —         | 0 ~ 120 秒 (0 秒)  |
| ミルクフォーム      | —               | —         | —         | 0 ~ 120 秒 (10 秒) |
| 2xミルクフォーム    | —               | —         | —         | 0 ~ 120 秒 (10 秒) |
| 熱湯           | 25~450ml(220ml) | —         | 低/中/高 (中) | —                |
| 熱湯(お茶用)      | 25~450ml(220ml) | —         | 低/中/高 (中) | —                |

※ 1 コーヒー抽出湯量 ※ 2 コーヒーの湯温 ※ 3 ミルクフォームを抽出するために出る蒸気を出す時間

※ 4 ミルクフォームの温度を調整するためにミルクの量を抑制するレベル

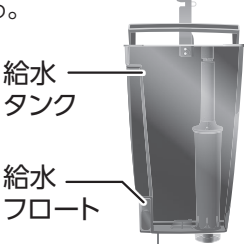
※ 5 ミルクを注入してからコーヒーを抽出するまでの時間 ※ 6 スチームミルクを抽出するために出る蒸気を出す時間

※ 7 スチームミルクの温度を調整するためにミルクの量を抑制するレベル ※ 8 コーヒーに追加する熱湯の量

※ この表は左ページと続いています。

| フォーム温度レベル ※ 4 | ポーズ ※ 5      | ミルク量 ※ 6      | ミルク温度レベル ※ 7 | バイパス水量 ※ 8     | 抽出分割数  |
|---------------|--------------|---------------|--------------|----------------|--------|
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | 0～240ml(50ml)  | 1～5(3) |
| —             | —            | —             | —            | 0～240ml(40ml)  | —      |
| —             | —            | —             | —            | 0～240ml(40ml)  | —      |
| —             | —            | —             | —            | 0～240ml(100ml) | —      |
| —             | —            | —             | —            | 0～240ml(100ml) | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | —             | —            | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | —             | —            | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | 0～60 秒(20 秒) | 0～120 秒 (4 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | 0～60 秒(20 秒) | 0～120 秒 (4 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | —             | —            | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | —             | —            | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒 (2 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒 (2 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(14 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(14 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(10 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(10 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(20 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒(20 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒 (0 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| 10 段階 (5)     | —            | 0～120 秒 (0 秒) | 10 段階 (5)    | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |
| —             | —            | —             | —            | —              | —      |

# アラーム表示

| 画面表示                | 原因                                                                                                           | 対処方法                                                                     |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 水タンクに水を入れてください。     | 給水タンクが空になっている。                                                                                               | 給水タンクに水を入れてください。                                                         |
|                     | 給水タンクが正しくセットされていない。                                                                                          | 給水タンクを正しくセットしてください。                                                      |
|                     | 給水タンク内にある給水フロートが固着している。<br> | 給水フロートが動くように水垢を除去してください。                                                 |
|                     | 給水タンクが浮いている。                                                                                                 | 新しい給水タンクを購入してください。                                                       |
| 排水トレイを挿入してください。     | トレイユニットが正しくセットされていない。                                                                                        | 給水タンクをセットし直してください。                                                       |
| 豆容器に豆を入れてください。      | ホッパーに豆が入っていない。                                                                                               | トレイユニットを正しくセットしてください。                                                    |
| コーヒー粉が足りません         | コーヒー粉が不足している。                                                                                                | コーヒー豆を入れてください。                                                           |
| 背面カバーを閉じてください       | 背面カバーが開いている。                                                                                                 | コーヒー粉を入れてください。                                                           |
| 抽出ノズルがありません         | 抽出口カバーが開いている。                                                                                                | 背面カバーを閉めてください。                                                           |
| ミルクシステムクリーニング       | ミルク抽出経路のお手入れが必要。                                                                                             | 抽出口カバーを閉めてください。                                                          |
| フィルター交換             | クラリスマートフィルターの交換が必要。                                                                                          | ミルク経路のお手入れをおこなってください。<br>(22 ページ参照)                                      |
| マシン洗浄               | マシンの洗浄が必要。                                                                                                   | クラリスマートフィルターを交換してください。<br>(30 ページ参照)                                     |
| CA 除去 <sup>※1</sup> | 水垢除去が必要。                                                                                                     | マシンを洗浄してください。<br>(27 ページ参照)                                              |
| 適温に下がるまでお待ち下さい      | マシンのオーバーヒート。                                                                                                 | 弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。 |
| 排水トレイを空にしてください      | 排水トレイが満杯になっている。                                                                                              | 電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、数分間マシンを冷ましてから再度電源をオンにしてください。                       |
| カス容器を空にしてください       | かす受け容器が満杯になっている。                                                                                             | 排水トレイとかす受け容器を空にしてください。<br>(20 ページ参照)                                     |
|                     |                                                                                                              | トレイユニットは、取り出してからセットするまで 10 秒以上間をおいてください (カウンターをリセットさせるため)。<br>(20 ページ参照) |

※ 1 フィルターを取り付けずに使用を続けたり、フィルターを交換せずにマシンを使用し続けた場合にアラームが出ます。

上記以外のアラームが表示された場合は、弊社コールセンターへお問い合わせください。

# こんなときは

| こんなとき                               | 原因                                                           | 対処方法                                                                                                                   |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない／<br>タッチパネルの表示が出ない。          | コンセントから電源プラグが抜けている。                                          | 電源プラグをコンセントに差し込んでください。                                                                                                 |
|                                     | 3℃以下の寒い場所に保管していた。                                            | 本体を 10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。                                                                  |
|                                     | 保護シートをはがしていない。                                               | 保護シートをはがしてください。(7 ページ参照)                                                                                               |
| コーヒーの出が悪い。<br>コーヒーが出ない。             | コーヒー豆の挽き目が細かすぎて、流れが悪くなっている。                                  | 挽き粗さ設定で、粗めに設定してください。(16 ページ参照)                                                                                         |
|                                     | フィルターの目が詰まっている。                                              | フィルターを交換してください。(30 ページ参照)                                                                                              |
| 豆がうまく挽けない。<br>コーヒーが薄くなった。           | ホッパー内に異物が入っている。                                              | 異物を取り除いてください。                                                                                                          |
|                                     | 挽き目が細かすぎる。                                                   | 挽き粗さ設定で、粗めに設定してください。(16 ページ参照)                                                                                         |
|                                     | ホッパー内が汚れている。                                                 | ホッパー内を清掃してください。(28 ページ参照)                                                                                              |
|                                     | 豆が湿っている。                                                     | 新鮮な豆に交換してください。                                                                                                         |
| ミルクフォームの泡立ちが悪い。<br>または、泡立たない。       | フォームフローサーが汚れている。                                             | フォームフローサーの分解清掃をしてください。(24 ページ参照)                                                                                       |
| ミルクやカフェラテがぬるい。                      | フォームフローサーの部品の汚れ                                              | フォームフローサーの分解清掃をしてください。(24 ページ参照)<br>※ 汚れが落ちにくい場合はミルクチューブクリーナーを使用してクリーニング。(25 ページ参照)                                    |
| ミルクを吸わない。                           | フォームフローサーを間違った方法で組み立てている。                                    | フォームフローサーを組み立て直してください。(24 ページ参照)                                                                                       |
|                                     | ミルクチューブが折れているか、曲がっている。                                       | ミルクチューブの折れや曲がりを直してください。                                                                                                |
| 排水トレイの水を捨てても「排水トレイを空にしてください」と表示される。 | 排水トレイの金属部分が汚れているか、濡れている。                                     | 中性洗剤を使用して、排水が溜まる面を洗浄してください。<br>金属部分をきれいに洗った後、乾いた布で水分を拭き取ってください。                                                        |
| トレイユニットが本体に入らない。                    | 洗浄中やすすぎ中など、本体の動作中にトレイユニットを抜いてしまったため、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。 | ① かす受け容器を入れない状態で、トレイユニットをいったんセットし、電源をオフにします。<br>② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。<br>③ トレイユニットを抜き、かす受け容器を入れたあと、再度トレイユニットをセットします。 |
| トレイユニットがひっかかって取り出せない。               | 本体の動作中にトレイユニットを引き出そうとして、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。             | ① トレイユニットを元の位置に挿入し、電源をオフにします。<br>② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。                                                               |

## こんなときは（続き）

| こんなとき                                 | 原因                                                                          | 対処方法                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| かす受け容器が満杯ではないのに「カス容器を空にしてください」と表示される。 | 電源オフの状態でコーヒーかすを捨てた。<br>または、コーヒーかすを捨てる時にトレイユニットを取り出してからセットするまで 10 秒以内でおこなった。 | 電源オンの状態でトレイユニットを外し、かすを捨て、再度セットしてください。<br>またトレイユニットは、取り出してからセットするまで 10 秒以上間をおいてください（カウンターをリセットさせるため）。<br>(20 ページ参照)                                          |
| 豆容器が空でもエラーが出ない。                       | 豆モニターが汚れている。                                                                | 豆容器を清掃してください。(28 ページ参照)                                                                                                                                     |
| 豆容器に豆が入っていても「豆容器に豆を入れてください。」と表示される。   | 豆容器のスライドキャッチが引き出されていない。                                                     | 本体の背面カバーを開けて、赤いスライドキャッチを完全に引き出してください。<br>(28 ページ参照)                                                                                                         |
| 電源を入れてからある程度時間が経つと電源がオフになる。           | オフまでの時間設定が働いた。<br>(一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります)                     | 再度使用するときは、電源スイッチを押して電源を入れてください。<br>オフになるまでの時間は設定することができます。(31 ページ参照)                                                                                        |
| 「ERROR 2」または「ERROR 5」と表示される。          | 気温が低い。                                                                      | 電源プラグをコンセントから抜き、10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。<br>症状が改善しないときは、弊社コールセンターへご連絡ください。<br>室温が 0℃以下になる場合は凍結しますので、必ず水抜きをおこなってください。<br>(38 ページ参照) |
| その他のエラー表示                             | —                                                                           | 弊社コールセンターへご連絡ください。                                                                                                                                          |



# 消耗品

## ご購入が可能な消耗品

部品の購入は、コーヒーマシンを購入した販売店または弊社コールセンターにご連絡ください。

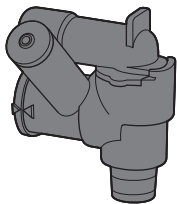
また、一部の消耗品は、弊社ウェブサイトから購入できます。

<https://www.brewmatic.co.jp/JURA/online/>

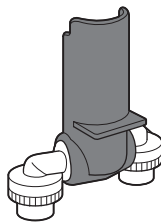
| 部品名称             |                     |                 |
|------------------|---------------------|-----------------|
| 給水タンク            | 給湯ノズル               | ミルククリーニング容器     |
| ホッパーふた           | フォームフローサー           | ミルク / 容器接続ジョイント |
| かす受け容器           | フローサー抽出口先端 (10 個入り) | フィルターエクステンション   |
| カップ受け            | ミルクチューブクリーナー        |                 |
| クラリススマートフィルター    | ミルクチューブ             |                 |
| マシנקリーナー (100 錠) | チューブジョイント           |                 |

## ■ ミルク関連の消耗部品

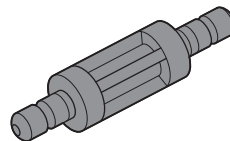
- フォームフローサー  
上部



- フォームフローサー  
下部



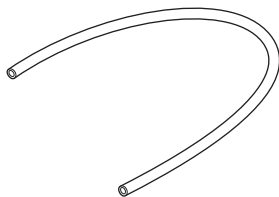
- ミルクチューブ  
接続口キャップ



- 空気取り入れ口  
(エア吸入口)



- ミルクチューブ



## お客様自身で交換ができない消耗品

以下の部品はお客様自身で交換できません。弊社コールセンターにご相談ください。

| 部品名称            |             |
|-----------------|-------------|
| グラインダー          | 抽出ユニット      |
| 抽出用ノズル          | バイブレーションポンプ |
| 各種 O リング、ガスケット  | サーモブロック     |
| 抽出ユニットピストンフィルター |             |

# 水抜きの方法

マシンを長期間使用しない場合や冬季をまたいで保管する場合、または運搬する場合は、以下の手順で本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。

- ① ミルクチューブを抽出口から外します。
- ② 抽出口・給湯口の下に容器を置きます。
- ③ ホーム画面の状態でロータリースイッチを押します。
- ④ 設定画面で「マシン設定」をタッチして選択します。
- ⑤ マシン設定画面で「システムを空に」をタッチして選択します。
- ⑤ 給水タンクを外し、空にします。
- ⑥ ロータリースイッチを押します。  
→ 内部に残っている水がなくなるまで抽出口・給湯口から蒸気が出ます。
- ⑦ 電源がオフになります。

# 保管方法

- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。  
(保管環境温度 4 ～ 60℃)
- 長期間使用しないときや冬季をまたいで保管する場合は、本体内部のコーヒー豆と水を抜き、購入時に入っていた箱に入れて保管してください。(38 ページ参照)

# 廃棄について

製品や使用済のフィルターを廃棄するときは、お住いの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

# アフターサービスについて

別紙の「保証とアフターサービスについて」と「保証書」をご覧ください。

# 仕様

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 寸法            | 幅 312mm × 奥行 496mm × 高さ 415mm |
| 電源            | AC100V 50/60Hz                |
| 消費電力          | 1450W                         |
| 給水タンク容量       | 約 2.4L (フィルター装着時)             |
| ホッパー容量        | 約 360 g × 2                   |
| コーヒーかす受け容器の容量 | 最大 20 杯分 ※選択したコーヒー粉量により変わります。 |
| 質量            | 約 18 kg                       |
| コードの長さ        | 約 2m                          |
| 保管環境温度        | 4 ～ 60℃                       |
| 使用環境温度        | 10 ～ 35℃                      |

※本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています。

Made in Portugal

輸入／販売元

ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp>

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

福岡営業所：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24



©2021 ブルーマチックジャパン株式会社

07092021